

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001088
事業所名	グループホーム フレンズハウス大塩

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	ヘルパーの実習生や中学生の福祉体験を受け入れたり、「子ども110番の家」を受託している。町内会に加入しており、回覧板で町内の敬老会、秋祭り、盆踊り、町内対抗の運動会など行事の情報を得て参加している。近所の方から、庭の果物を自由に収穫させてもらえるなどの交流もある。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	2か月に1回開催しており、民生福祉会長、入居者、法人内から知見を有するものとして数名の参加がある。会議の内容はホームの現状や行事報告、ホームからの提案や相談を行っている。次回は地域包括センターの職員参加が予定されており、町内会からも参加してもらえるようお願いしている。(12月開催予定の会議には地域包括支援センター職員の参加が予定されているので来年度確認する)	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	市が実施する説明会に参加して情報収集をしたり、書類関係で定期的に窓口へ出かけている。運営推進会議の参加を機に協力関係の取り組みを具体的に相談する予定がある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	玄関に手作りの意見箱が設置されており、誰もが要望や意見を表せる環境を提供している。面会時や電話で直接声をかけ、要望や意見を聞き、内容によっては職員間で話し合い迅速な対応を心がけている。実習生には無記名でアンケートを出してもらい運営に反映させている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。  市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。